

(財)女性のためのアジア平和国民基金

第97回理事会

平成19年3月

第97回 理事会議事録

1. 開催日時

2007年3月6日(月) 15:00-17:00 アルカディア市ヶ谷

2. 定足数

理事現在総数は11名のうち、出席理事は9名、委任状出席理事が2名で定足数は満たしている旨報告があった。

〔出席理事〕 村山富市理事長、石原信雄副理事長、有馬眞喜子理事、
植本真砂子理事、衛藤満吉理事、大沼保昭理事、
金平輝子理事、宮崎勇理事、和田春樹専務理事

〔委任状出席理事〕 大鷹副理事長 古賀伸明理事

〔運営審議会〕 大門正彦委員

〔監事〕 入山健之助監事

〔オブザーバー〕 外務省アジア大洋州局地域政策課長

相川一俊課長

同

同

篠川志保事務官

元外務省アジア局長 横田 邦彦氏が挨拶のため出席

〔事務局〕 峯岸良夫総務部長、岡 檀業務部長、原田信一事務局員

佐藤榮子事務局員、渡邊千尋事務局員、高江洲晴子事務局員

3. 理事会

議事署名人の選出

議長に一任となり、議長より有馬理事および大沼理事が指名された。

横田元アジア局長の挨拶

【1】議題審議

議題 1 記者会見及び感謝の会について

(1) 記者会見

記者会見の理事長の発言及び想定問答について理事の意見を取りまとめ作成された文案が事務局より説明され、審議の上承認された。

(2) 感謝の会

挨拶を依頼した方々の時間調整、式次第について討議され、承認された。

議題 2 政府への申し入れ

この件の審議は24日の理事会へ延期された。

議題 3 デジタル記念館をアップするサーバーの獲得について

国会図書館のWARPでは検索エンジンが入らないので、サーバーの確保をしたい、期間は10年とするとの提案がなされた。原則的に承認され、サーバーの場所を検討することになった。

議題 4 挺対協との対話

過去、挺対協と行われた対話について、関係者により事情説明がなされ、了承された。

その他 事務局からの報告

(1) オーラルヒストリー作成の現状報告

500部作成予定、送付先再検討、23日出版予定である。

非公開文章は、本人の承諾書を取り付け、憲政資料室に預ける。

(2) 「慰安婦問題とアジア女性基金」等の出版物の作成現状

慰安婦問題とアジア女性基金は日本語と英語版を合本し出版することとし、21日出版、26日発送の予定である。

日韓学生フォーラムの記録パンフレット及びDVD作成は20日出版、26日発送の予定である。

ビデオ「振り向けば未来が見える」(慰安婦の証言)はコピーを作成する。

(3) 資料整備

韓国事業資料の保存が進んでいない現状が説明された。

次回理事会は3月24日(土)開催する。

平成19年3月6日

議長 (理事長)

村山富市



議事録署名人 (理事)

有馬真喜子



同

(理事)

大沼保昭

